

2010年10月22日

新京成電鉄株式会社 社長
片岡 遼一 様

常盤平南口駅にエレベーター設置を求める要望書

日本共産党常盤平支部長	浅利 正
党松戸市医療福祉相談室長	山口 正子
日本共産党松戸市議会議員	中村たか子
日本共産党千葉県議会議員	みわ 由美

日頃のご尽力に、敬意を申し上げます。さて、バリアフリーにつきましては、かねてより要望してまいりましたが、多くの市民の皆様からの待ったなしの強い願いです。

ところが、残念ながら、松戸市内で一番利用客が多い松戸駅(30万人)をはじめ、駅構内にエレベーターがひとつもない駅が残されています。とりわけ、私たちが住む常盤平駅南口の利用者の方たちからは、エレベーターの設置を求める声が切実です。そこで、私たちは、署名で皆さまの声をあつめました、なんとわずか一カ月で、市長宛てに、658筆の署名が寄せられました。

前回、6月1日の貴社の回答では、北口のエレベーターを使用して下さい、とのことでしたが、ご高齢や障害等により、北口まで遠回りして歩くこと自体が苦痛で困難です。さらに「踏切りを渡るのがまたひと苦労」との声も多数です。そのため、南口の長い階段を後ろを向いて、一段一段降りている方も大変多く、「五香で降りてタクシーで常盤平団地に帰っています」等、事態は深刻です。

しかも、常盤平団地の高齢化率は極めて高く、例えば、松戸市全域で70歳以上の人口は全体の13.35%(6万3915人-全体が47万8767人)ですが、常盤平団地内では27.3%(1986人-全体が7276人)と、倍の比率になっています。

老後も若い子育て世代も、安心して車いすやベビーカーで駅が利用できる街にするため、常盤平駅南口のバリアフリーの実現に全力を挙げて頂きますよう、強く要望します。

どうぞ、よろしくお願い致します。

以上